

テーマ **地域人材の力によって、協力し合える心豊かな子どもを育てよう。**

- 目標
- ・奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
  - ・学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
  - ・どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
  - ・親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
  - ・幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

・【平城高校生と遊ぼう！】平城高校生が企画から当日の運営までに関わり、1月10日（土）に北部会館で実施しました。幼児から高齢者まで100人以上の参加がありました。高校生が企画から当日の運営まで関わる取組は本事業としては珍しいと伺っています。

・【歴史ウォーク】「奈良の文化・伝統のよさを知ること」を目標に、11月3日（月・祝）に、「奈良きたまち」などを歩きました。当日は、「NPO法人 なら・観光ボランティアガイドの会〈朱雀〉」の方々にガイドをお願いし、それぞれの歴史的意義を深く知ることができました。



また、改修直後の正倉院正倉も見学する機会もあり、地元奈良のすばらしさを再認識することができました。参加者は142人のぼり、秋空のもと実りある取組となりました。

今年度のまとめ

【歴史ウォーク】では、100人以上の参加者があり、秋空の下、自分たちが住む校区周辺及び奈良の歴史を学び、奈良のすばらしさを実感するという成果がありました。【平城高校生と遊ぼう！】は、平城高校の生徒が企画から当日の運営までに積極的にに関わり、幼児から高齢者まで100人以上の参加がありました。内容も、幼児から高齢者まで楽しめるもので、バラエティ豊かでした。この事業により、高校も含んだ地域のコミュニティの深化や感動体験という成果がありました。

来年度に向けて

基本的には、今年度と同様の事業を展開する予定ですが、【平城高校生と遊ぼう！】への子どもの参加が少ないので、企画段階からの見直しが必要です。【歴史ウォーク】は、マンネリ化しないように、新たなコースの発掘が必要と思います。

テーマ

## 知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動

### を子どもたちに！

目標

地域の社会人から直接、学ぶ機会を増やし、キャリア学習、平和学習、国や郷土の文化・伝統を学ぶ等の機会をもち、体験的な活動を行うことによって生きた力を身に付けさせたい。また、学校や地域の環境整備のための生徒のボランティアを活発化させ、社会に役立つ経験をもたせる。さらに、そのようにして身に付けた力を生かして生徒自身や集団で活動の成果をまとめ、地域の方々などに向けて発表させる。

#### 今年度の取組紹介

【地域と歩む創立30周年記念式典】と【地域に開かれた文化発表会】では、学校の取組を地域に発信する機会としました。特に今年度は、10月27日（月）実施の【地域と歩む創立30周年記念式典】には、地域教育協議会委員、来賓、PTA役員、校区幼稚園・小学校教員、保護者等、たいへん多くの方々に参加いただきました。

#### 【地域の伝統音楽】

12月8日（月）に、講師を招いて3年生の音楽の授業で尺八の演奏鑑賞及び体験を実施しました。ほとんど全ての生徒が初めての体験で、日本の伝統音楽に触れる貴重な体験となりました。

#### 【クリーン大作戦】

本校生徒の有志100人以上が、校区内のゴミ集め・清掃活動を行いました。



#### 今年度のまとめ

【地域と歩む創立30周年記念式典】では、参加された地域の方から30周年事業を祝うお言葉をいただいたのと同時に、生徒が活躍する場面も多くつくり、地域と学校との繋がりをより深いものにできました。

【地域の伝統音楽】では、日本の伝統音楽を学習する良い機会になり、生徒たちが「自分たちが生きている日本についてのすばらしさを実感するとともに、誇りをもった」と感想を述べており、一定の成果があったと考えています。

【クリーン大作戦】に参加した生徒から、「清掃をしている時に、地域の方から声をかけていただきうれしかった。」と述べる生徒もいて、地域への感謝の気持ちや社会に役に立つことの満足感を体験したと考えています。

#### 来年度に向けて

基本的には、今年度の事業を継続・発展させていきます。地域の方とふれあう機会を増やしていくことを目標にします。

テーマ

いきいき・わくわく・笑顔あふれる、朱雀っ子

目標

自分や地域にほこりを持つ子の育成

## 今年度の取組紹介

## 楽しい理科実験教室

地域の理科研究会の先生方が、5・6年生を対象に楽しい理科実験をしに来てくださいました。LEDの原理や光の三原色について・変化球の投げられる原理等子どもたちが興味をもつ実験をしてくださいました。具体的な実験道具を色々と準備していただいたので、とても良く分かりました。



## お話の会

毎月1・2年生を対象に、すざくお話の会の皆さんが、楽しい本の読み聞かせをしてくださっています。とても上手に朗読されるので、聞いている子どもたちは、物語の世界に引き込まれてしまいます。今度はどんなお話をしてもらえるのかとても楽しみにしています。



## 今年度のまとめ

本年度も「音楽会」と「作品展（朱雀っ子展）」に地域の方や普段お世話になっているボランティアの方々を招待しました。以下は、その感想の一部です。

「音楽会の感想」・子どもたちの純粋な歌声から、また詩から勇気や感動をたくさんいただきました。

- ・75年の間に初めて音楽会に招かれて、大変喜んでおります。小学校の頃を思い出しました。とても楽しかったです。子どもたちから元気をもらいました。

「作品展の感想」・一人ひとり小さな芸術家ですね。どんな気持ちを持って作品を作り上げたのかなと思いをはせますと、より一層作品の味わいが深まるようです。」

- ・3・4年生の作品、幼い頃読んでやった本の世界に引き込まれて、涙が出ました。ランドセルの作品の詩に大変感動しました。

## 来年度に向けて

地域の方々と子どもたちがふれあうことにより、元気や若い力を地域の方に与えていることが分かりました。また、子どもたちも地域の方々と知り合うことにより、街の中であいさつをしたり、声をかけたりする機会も増え大変よいことだと思いました。これからも地域の皆さんと子どもたちが、触れ合える機会をたくさん設けていきたいと思ひます。

テーマ

**地域と共に笑顔いっぱい元気いっぱい佐保台っ子**

目標

**様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心を育む**

## 今年度の取組紹介

今年度も環境美化活動、図書館活動、パソコン学習、福祉体験学習を地域の方やゲストティーチャーの方に支援をいただきながら進めました。

環境美化活動事業では、環境委員会が中心となり栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。また、校外の活動としては、校区にあるJR平城山電車区の美化運動に協力し、2年生が花の苗植に出かかっています。パソコン学習事業では、全学年でICTを活用した学習を進めました。低学年は「お絵かきや簡単なお手紙・カレンダー作り」、中学年は「ローマ字を使った名刺や自己紹介文作り」、高学年は「パワーポイントを使ってプレゼンテーション」やシャープ株式会社の協力を得て電子黒板やタブレットを使った授業に取り組み、系統立てたパソコンのスキルを学び、児童のプレゼンテーション力の向上を図ることができました。

図書館活動事業では、地域の図書ボランティアの方の協力を得て、図書室の環境作りやブックトーク、絵本の読み聞かせ等の読書活動を推進しました。また、「月の光」をゲストティーチャーに招き、低高別に読み聞かせを行い、子どもたちに相手を思いやる深い心と生きる力を育むことができました。

福祉体験学習事業でも車いすラグビーの方を講師に招き、実際に車いすに乗ってスポーツ交流をすることを通して、相手を思いやる心を育みバリアフリーやユニバーサルデザインの考えを深めることができました。



## 今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたるとともに、子どもたちに感動体験を通して魅力ある取組を行いたいと考えました。そして、地域や親子とのふれあいを支援し、地域のすばらしい人材を広い意味で活用し、連携を深めました。こういったなかで、地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育つものと思います。また、これらの活動を通して今日的な課題である情報・福祉・環境・国際理解教育の推進にも力を注いでいき、子どもたちに豊かな心を育みたいと考えています。

## 来年度に向けて

様々な体験活動を地域の方々の支援を得ながら進めることができ、教室だけの学習ではなかなか得難い多くの感動と学びがありました。このような取組は、継続的に進めてこそさらに大きな効果が表れてくるものと思います。また来年度も活動内容を工夫し、発展継続していきたいと考えています。

テーマ

**地域へ発信！つながる左京**

目標

地域の方々とともに体験活動を通して、地域を愛せる児童の育成を図る

今年度の取組紹介

26年10月18日（土）

「子ども安全の家スタンプラリー」

地域の人たちと子どもたちとのふれあいによって地域内の絆を強めるとともに、子どもたちの防犯意識を高めることをテーマとして実施しました。

子どもたちがグループ毎に、子ども安全の家の旗設置者宅を訪ね、設置者と触れ合いながら校区内をラリー、その後、大声コンテスト、防犯意識啓発のための寸劇等を行いました。

多くの旗設置者の協力を得て、保護者、警察、教育委員会、教職員も一体となって、温かな雰囲気の中で実施したこの取組によって、子どもたちに、“多くの人に見守られている”という意識が強まったことや困った時の対処に仕方について学べたことなどがこの取組の成果でした。



今年度のまとめ

地域の方々と多様で豊かな体験活動を通して、子どもたちのコミュニケーション能力や規範意識が高まりつつあります。また、様々な、人と人がふれあう体験は、子どもたちに感動体験を与えると同時に、新たなものの見方や考え方も身につけさせることができたように思われます。これらのことは、教職員にとって、地域との連携の必要性を改めて感じさせるものでありました。同時に、地域の方々の学校に対する協力姿勢も強まったように感じられます。

来年度に向けて

今年度の取組を継続していくことを基本に、さらに多くの子どもたちや地域の人たちの参加、参画が得られるように、取組の内容や広報・啓発活動を充実させていきます。また、今後もこの事業が継続・発展していくためには、後継者の育成にも努めなければならないと思います。

テーマ

**いきいき・わくわく・笑顔あふれる、すざくっ子**

目標

**優しい心・思いやりの心・感動する心を育む。****体を動かす心地よさ・夢中になって遊ぶ楽しさを味わう。****今年度の取組紹介 【朱雀お話の会】**

月1回の“お話の会”では、地域の方からの絵本や紙芝居、パネルシアターなどを視聴し、わらべうたあそびや手あそびなど毎回工夫されたプログラムに子どもたちも興味津々でした。見たり、聞いたり、触れたり、時には一緒に試したりするなど、五感を通して楽しくいきいきと活動する姿がみられました。毎回魅力あるお話の世界に引き込まれながら、わくわく、どきどき感動いっぱい、笑顔いっぱい楽しんでいました。また地域の方に「楽しかったよ」「ありがとう」と親しみや感謝の気持ちを表現したり、「同じ絵本を借りたよ」と日々の生活に取り入れたりする意欲的な姿も見られ、地域の教育力が日々の生活に生かされた、魅力ある取組となりました。

**【園外保育（防災センター）】**

安全への意識を高めるための取組として、地域の方と一緒に奈良市防災センターと南消防署に出かけ、災害の疑似体験や消防車の見学を行いました。地震や暴風・煙体験では不安な様子もみられましたが、地域の方に励まされながらいろいろな体験をすることができました。この体験で、自然災害の怖さを知っただけではなく、命の大切さを身にしみて感じるすることができました。また、災害時の避難の仕方についても教えていただき、自分の命は自分で守ることの大切さを学びました。



引率された地域の方からは、「みんなしっかり話を聞いて真剣に取り組んでいたね。」と褒めていただきました。

**今年度のまとめ**

地域の方やゲストティーチャーとのふれあいは、人とかかわる楽しさや喜び、人の温かみを感じる有意義な体験となりました。また、活動を通して感謝の気持ちや規範意識が高まりました。

様々な事業は、ただ楽しいだけではなく、幼児たちの学びや育ちにつながるもので、いきいきわくわくするような心情・意欲・態度が養われたように感じます。

**来年度に向けて**

地域の中の開かれた幼稚園となるよう、今までの取り組みを基盤に今後も園の取り組みや幼児たちの学びや育ちなどを様々な方法で地域・保護者の方に発信していきたいです。そして、園・保護者・地域が一体となって互いに協力し合い、連携を密にすることで多くの方に慕われ愛される幼稚園づくりに努めていきたいと思ひます。

テーマ

**心豊かに育ち合う楽しい幼稚園**

目標

わくわく・ドキドキ心を動かす体験活動を通して、生き生きと生活する心豊かな幼児を育てる。

今年度の取組紹介

**【 おもしろ理科実験 】**

“平城 NT 楽しい理科実験研究会”の方に来ていただき、すぐにできる毛糸とナットを使った『紐の手品』や、段ボールで紙コップを飛ばす『コップでポン！大空気砲』や、段ボールから煙が輪になって出てくる『空気砲』などの科学の実験に、親子で見たり触れたりして遊びました。いろいろな実験に見入ったり、空気砲の作り方を詳しく教えてもらったりしている保護者の姿が見られました。後日、教えてもらった大空気砲で、どうしたら紙コップを高く飛ばせるかいろいろ試したり、友達と競争したりして遊ぶ姿が見られました。

**【 スペシャルランド・テーブル作り 】**

地域の方に教わりながら、木を組み合わせてネジやドライバーを使って自分たちが遊びに使う机や棚を作りました。ネジ回しを初めて経験した子どもも多く、ドキドキした様子で行っていました。取り組み後、5歳児が木材を組み立てることに興味を持ち始め、釘や金槌を使って小さな机や椅子など、思い思いの作品をつかって木工遊びをする姿へとつながっていきました。



今年度のまとめ

左京地区や佐保台地区などの地域の方、地域施設の方々等、たくさんの方に協力していただき、子どもたちは様々な感動体験を経験することができました。「おもしろ理科実験」では、研究会の方に熱心に仕方を聞いたり、その後の保護者のアンケートで「親子で楽しんだ」「また見てみたい」という感想が聞かれたり、科学に興味を持っている様子が伺われました。「スペシャルランド・テーブル作り」では、家庭ではできない経験をすることで心を動かす体験となり、事後の子どもたちの生活や感性が豊かになり、活動の幅が広がりました。

来年に向けて

コーディネーターの方々も、他の事業や仕事等と重なってして頂いている事や、同一人物では後が続かないこともあるので、次へとつながっていく方を探しながら、地域の方々に幼稚園事業を理解してもらい、連絡を取り合って引き続き連携していきたいと思ひます。